

令和6年9月27日

四国中央市長 篠原 実 様

四国中央市議会議員 山川和孝



「観光振興の取組について」に対する提言

四国中央市議会基本条例に基づき、産業建設委員会において、観光振興の取組について理事者とともに勉強会を重ねた結果、以下のとおり提言いたします。

提言に当たって

本市の産業分野は、日本一の紙のまちとして工業を中心に発展を遂げてまいりました。一方、観光分野では、多くの観光客を引きつける施設等が少なく、全般的には本市の魅力を十分に発信できていない現状にあります。

他の自治体の成功事例を考察しますと、観光振興には柔軟な発想とチャンスをもものにしようとする仕掛けづくりが重要であると分析できます。

これらを踏まえて、本市の現状や他の自治体の施策を参考に協議した結果に基づき、観光振興の取組について次のとおり提言いたします。

- 1 観光施設がより市民と観光客に愛される施設となるよう充実を図ることを目的に、可能な限り積極的に、多種多様な意見を反映し、以下の改善策を講じること
 - (1) 具定展望台改修に係る実施設計において、市民の意見とアイデアを広く聴取し、設計計画に反映すること
 - (2) 霧の森、霧の高原を利用された方の意見を施設の管理、運営に反映できるよう、指定管理者に対し適切に指導を行うこと
- 2 さらに観光客誘致を図ることを目的に、以下の具体策を早急に講じること
 - (1) 「四国のまんなか」、「海と山が近い」など、本市の地の利をいかした観光客誘致施策を策定すること
 - (2) 市内観光と宿泊を促進することだけに限定せず、広域的な観光ルートを提案するなどの仕掛けづくりに取り組むこと
 - (3) 観光客に市内の自然やイベント情報等を積極的にソーシャルネットワークサービス（SNS）等で発信してもらえるよう観光PRに努め、市民参加型事業の充実に取り組むこと